

第2回 「建築の美を、計算する～力学と数学はデザインツール～」

日時	2026年9月12日（土） 15時00分～16時30分
講師	伊藤 拓海 教授 東京理科大学 工学部 建築学科
講義概要	<p>人々を惹きつけてやまない、建物の美しいフォルム。 そんな建築の美を支えるのは、感性か、それとも論理か。 答えは、その両方です。</p> <p>中世の大聖堂から、現代の摩天楼・大空間まで、人々を魅了するフォルムは、常に「力学」と「数学」による方程式によって支配され、究極の必然性が隠されています。</p> <p>この講座では、普段は見えない建物の「骨組」と「方程式」に焦点をあて、力学を自由自在なデザインツールとして操る建築構造学の世界をご紹介します。</p> <p>建物の見方が、これまでとは違う「構造美」の世界に変わります。</p>
参考図書	『理工系の基礎 建築学』（丸善） https://note.com/tus_ito_lab0